

学校法人大阪星光学院 平成25年度事業報告書  
(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

I. 法人概要

学校法人大阪星光学院は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創業者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

1. 設立年月日

昭和25年12月22日

2. 設置する学校及び生徒数

学校	学年	定員数	生徒数*
大阪星光学院中学校	1年	200	189
	2年	200	209
	3年	200	188
大阪星光学院高等学校	1年	200	206
	2年	200	208
	3年	200	209
合計		1200	1209

\*生徒数は平成25年5月1日現在

3. 設置する学校の所在地

学校法人大阪星光学院

〒543-0061 大阪府大阪市天王寺区伶人町1番6号

4. 教職員の概要 (平成25年5月1日現在)

	教員			職員		
	本務	兼務	計	本務	兼務	計
中学校	教員30 養護1	非常勤講師5 特別非常勤講師3	39	事務職員2 受付1 営繕2	南部管理1	6
高等学校	教員34 養護1	非常勤講師3 特別非常勤講師0	38	事務職員3 電気営繕1 営繕2	カウンセラー1 山荘管理1 図書1	9
合計	66	11	77	11	4	15

5. 役員の概要 (平成25年6月1日現在)

定員：理事7人以上8人以内、監事2人以上3人以内

理事長 チプリアニ・アルド

常任理事 鈴木英史 (大阪星光学院中学校・高等学校校長)

々 田中次生

々 谷 聡史  
 々 濱崎 敦 (日向学院中学校・高等学校校長)  
 々 長谷川純也  
 々 野出明敬  
 々 井上末廣  
 監事 檀野友昭  
 々 福井善昭

6. 評議員の概要 (平成25年6月1日現在)

定員：15人以上17人以内 現在16人

チプリアニ・アルド 田中次生 鈴木英史 谷 聡史 濱崎 敦 長谷川純也 野出明敬 井上末廣 小田原賢  
 範国平次 宮本浩司 小林敏男 田丸寛二 松下一彦 小寺史郎 吉田博史

II. 事業の概要

1. 教育の充実

1) ミッションスクールとして宗教教育の充実

毎週1時間の倫理の授業を通じてカトリックの理念を伝えています。更にサレジオ修道会会員、信者の教職員及び有志の教職員が加わって宗教教育委員会を設け、ドン・ボスコの教育の根幹をなすアシステンツァの教育の実践方針を検討しています。

2) 中高一貫教育の充実

成長期にある生徒への教育方針は、愛と奉仕の精神を基盤に、人間の成長をトータルに捉え、徳・知・体をバランスよく育むことです。それには、中高一貫教育による「理解と信頼」を培うことが不可欠であると考えています。研修館・南部学舎・黒姫星光山荘での生徒・教師が、寝食を共にする校外教育活動の重視は、その端的なあらわれです。

3) 学力向上

中高の6ヵ年一貫教育による「理解と信頼」を基に、生徒の希望の進学に向けての学力向上と、心の教育として心学に努めました。定期考査及び実力・模試の実施とその成果を単年度単位ではなく、6ヵ年を総合的に見直し、第一期(中学1・2年)は基本的生活習慣を確立し、基礎学力の充実に回り土台を固め、多様な価値観を容認するおおらかな心を養うよう指導。第二期(中学3年・高校1年)は第一期で築いた土台の上に立ち、関心領域を積極的に拡大しながら考える力を伸ばし、自分の適性の発見に努められるように指導。第三期(高校2・3年)は理系・文系に分かれ、各自の進路実現に向け、学力の更なる充実に努めるとともに、社会的存在としての自覚を促す指導。このように成長段階に合わせた教育プログラムの実践にて生徒を把握し、生徒指導に資するようになりました。補習授業、補習合宿、多方面の講演会等の行事、さらに保護者・生徒との面談も学力向上につながるものです。今年度の大学入試は以下のとおりでした。今後も、生徒の希望する進路確保に努める所存です。

◇大学進学状況

年度	平成25年度(59期生)		
卒業生	209		
現・既卒別	現役	既卒	計
国公立大学	102(26)	92(18)	194(44)
私立大学	64(10)	214(22)	278(32)
準大学	防衛医科大2 防衛大2 トロント 1	防衛医科大3	防衛医大5 防衛大2 トロント 1

( )内の数字は医科系への進学人数、※私学は延べ人数

◇主な大学別合格者（平成25年度 59期生）

卒業生数 現・既卒別	209名					
	現役	医歯学部	既卒	医歯学部	計	医歯学部
東京	13		8		21	
京都	38	2	20		58	2
大阪	11	2	7	4	18	6
神戸	8	4	9	1	17	5
一橋大	1		1		2	
北海道	4	2	1	1	5	3
横浜国立大			2		2	
筑波大			1		1	
金沢大	1				1	
福井大			1	1	1	1
信州大	1					1
名古屋大	1				1	
三重大			2	2	2	2
滋賀大			1		1	
滋賀医科大	1	1			1	1
京都工繊大			5		5	
大阪教育大			2		2	
和歌山大			3		3	
岡山大			1		1	
広島大	2	2			2	2
九州大	1		3	1	4	1
鹿児島大			2		2	
札幌医科大	1	1			1	1
静岡県立大			2		2	
京都府立大			1		1	
京都府立医	4	4	1	1	5	5
大阪市立大	5	3	7	6	12	9
大阪府立大	2		7		9	
兵庫県立大			4		4	
奈良県立医	3	3	2	2	5	5
和歌山県立医	2	2			2	2
慶応大	4		19		23	
早稲田大	11		25		36	
東京理科大	1		5		6	
同志社大	14		40		54	
大阪医科大	6	6	8	8	14	14
関西医科大	1	1	7	7	8	8
関西大	3		18		21	
関西学院大	4		10		14	
立命館大	2		28		30	0
その他私大	18		54		72	
防衛医科大	2	2	3	3	5	5
防衛大学	2				2	

4) クラブ活動の活性化 (平成25年6月現在)

クラブ活動も学習とともに学校生活を豊にするものであります。多数の生徒がクラブ活動に参加しています。

<文科系クラブ> 中学生：91名 高校生：135名

<運動系クラブ> 中学生：456名 高校生：373名

クラブ名	中	高	計	クラブ名	中	高	計	クラブ名	中	高	計
天文	8	3	11	美術	3	2	5	バレーボール	12	11	23
ライフサイエンス	15	5	20	新聞	0	1	1	テニス	89	78	167
電気工学	14	6	20	文芸	2	0	2	卓球	44	30	74
化学同好会	0	6	6	カトリック研究会	0	5	5	野球(高)		35	35
物理研究同好会	0	6	6	書道	0	4	4	野球(中)	48		48
地歴研究	13	2	15	囲碁将棋	11	11	22	ホッケー	26	19	45
数学研究	3	17	16	クイズ研究会	15	7	22	柔道	16	18	34
ESS	3	9	12	アカペラコーラス同好会	0	0	0	弓道	24	36	60
放送	1	12	13	ボランティア	2	28	30	サッカー	94	43	137
吹奏楽	2	3	5	陸上	23	44	67	剣道	33	28	61
写真	4	4	8	バスケットボール	47	31	78				

2. 平成26年度生徒募集の状況について

1) 中学入試科目と合格発表

<入試科目>

I型：4科型 (国語・算数・理科・社会)

・4科目の合計点、国語・算数・理科の合計×1.25、国語・算数・社会の合計×1.25の内最高点を本人の成績とする。

II型：3科型 (国語・算数・理科)

・3科目の合計点×1.25を本人の成績とする。

<合格発表> 受験者 (I型+II型) の成績上位より定数を合格発表する。

2) 高校入試科目と合格発表

<入試科目>

1 次試験：5科目 (国語・数学・英語・理科・社会)

<合格発表> 成績上位より定数を合格発表する。

3) 生徒募集状況 (平成26年1月、2月実施)

《大阪星光学院中学校》

出願者は昨年度より1名増加の751名。4科目志願者は昨年より26名減少し、3科目志願者が27名増加。当日欠席者は25名で昨年より22名減少。出願の都道府県別では、大阪府519名 (市：187名、府下：332名)、奈良県114名、兵庫県61名、京都府24名、和歌山県7名、滋賀県0名、三重県2名、その他県24名であった。その他県の出願は昨年より7名減少。他校の併願状況と昨年度の入学者増の結果を考慮し合格者数を302名。しかし、辞退者が116名になり、追加合格者12名を発表し10名入学。合計196名 (最終合格者314名、実質競争率2.3倍) となり、中学1年生は各クラス49名の4クラス編成となった。

《大阪星光学院高等学校》

大阪府の私立学校学費無償化、府立高校学区制の廃止や前期後期の受験機会増の影響もある中で、1.5次入試を始めてからの推移を検討した結果、1次入試の合格者が1.5次入試の合格者より入学後の勉学や学院生活にお

いて問題が少ないことから、本年度は、1次入試のみで実施。出願者は68名で昨年度より22名増加。受験者は65名（欠席者3名）。合格発表は44名（実質競争率を1.5倍）。入学手続き者29名中16名辞退。入学者は13名。内部進学者は176名と過年度生1名で高校1年生は190名の5クラス編成。

《渉外部の広報活動》

- ・体育大会、スクールフェ等の受験生見学の受入、
- ・渉外部の小学校・塾主催の説明会や講演会への参加
- ・塾向け学校内の案内では生徒の協力など積極的な広報活動

《高校受験》

- ・入学後の学力確保が数年難しくなっている。
- ・平成26年度入試は1次入試のみとなり、受験者が1/5になった。

4) 平成26年度高等学校（62期生）・中学校（65期生）入学試験の概要

高等学校（62期生）		中学（65期生）	
年度	平成26年度	平成26年度	
	1次	I型	II型
志願者数	68	428	323
受験者数	65	421	305
合格発表者数	44	204	98
合格最低点	261	244	
実質競争率	1.4	2.3	
入学者数	13	10	
内部進学者	176+1（合計190）	196	

4. 本校舎関係主な事業

《教務》

○第44回国際物理オリンピックデンマーク大会 出場 澤岡洋光 銅メダル獲得 ○日本生物オリンピック 金賞：景山 魁、銀賞：高橋侑嗣 ○全国物理チャレンジ 金賞：澤岡洋光、白井秀和、銅賞：渡邊 葵、親川晃一、尾田直人、堤俊輔、徐子健 ○化学グランプリ 銀賞：白井秀和、桑本智弘 銅賞：秋山久徳 ○第3回科学の甲子園全国大会出場 大阪府代表（優勝の結果）高2 荻野親、吉田博信、上江田基宏、徐子健、石本達也、松下峰之6名 ○第8回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミックス甲子園」大阪代表 高2年 海道勇人、奥亮輔 ○第2回オーストラリア語学研修（中学3年生・高校1年生46名・引率教員3名 3月21日～4月1日、アデレード：カーダインカレッジ、グリーズンカレッジ、ブラックフライヤーズプライオリースクール 旅行代金429,000円 近畿日本ツーリスト関西国際交流センター企画）

《クラブ活動》

○グランドホッケー部 近畿大会出場 於：瑞穂総合運動公園 ○第44回全国中学校卓球大会出場 中3B 多田浩嗣 岐阜 於：メモリアルセンター ○第33回近畿高等学校総合文化祭将棋部門 大阪代表 団体：小林伸平、横田祥明、頼 禎亮 個人A級：池永将大 於：三重県津市 ○第33回NHK杯争奪大阪府中高将棋選手権大会男子団体戦優勝（矢野朔太郎、横田祥明、小林伸平、頼禎亮、池永将大）、第22回全国高文連将棋新人大会 北海道大会 大阪府代表 小林伸平 於：函館市 ○高校ホッケー部近畿大会出場

《緊急時対策備品》

○緊急避難時の飲料水交換 2ℓの飲料水1200本 ○防災雑用水用 井戸2箇所掘削 ○電気自動車（ミニ・キャブ軽トラック）購入（蓄電用に併用） ○FairCast サービス利用料金

《広報・渉外》

○2014年度用学院作成 案内新規 ○学校説明会（10月、11月） ○塾対象説明会活動

《施設管理》

○武道場（柔道場・剣道場）の空調設備設置 ○卒業記念植樹園のマリア像設置とほこら石積 ○図書館前フロアー、事務課前フロアーダウンライトのLED灯工事

《設備管理》

○生物実験用オートクレーブ購入 ○丁合機・中綴じ折製本機取替え購入 ○卓上紙折り機購入 ○電動断裁機購入 ○運動場クラブ日除け用イベントテント3張 ○ウォータークーラーとハンドシャワー2台設置 ○クラブハウス西側水のみ場屋根工事 ○ハンドボールゴール2組 購入 ○新中1生徒ロッカー作製4名分（各クラス1名分増設） ○中学・高校棟下足箱前木製スノコに取替え ○グランド用時計交換（クラブハウス上に設置） ○教職員・来客用トイレウォシュレット取付 ○職員室西窓 遮熱フィルム貼付施工 ○防犯カメラシステムを玄関警備室前及び6階踊り場に設置 ○校用車買い替え購入2台（サクシード・ミニキャブ軽トラック） ○卒業記念樹園年間管理 ○前熱交換機 Filter 交換と熱交換器周囲清掃 ○高校棟ファンコイルの整備（高校棟1～4階天井埋め込み式ファンコイルの整備） ○ガス吸収式例温水発生器の冷却水系への薬剤補充 ○5・6階電動カーテン修理 ○特別清掃及びガラス清掃（年間3回） ○中高各階トイレ・洗面台・食堂床特別清掃

5. 黒姫山荘関係主な事業

○屋根塗替え塗装工事 ○居室隔壁工事 ○山荘ベッド畳新調 ○断熱材充填工事 ○各個室入口額入りフラッシュ改修工事 ○食器消毒保管庫一式

6. 南部学舎関係主な事業

○熱源ポンプ取替え修理 ○軽トラック（中古車）購入 ○ボイラー部品交換修理 ○厨房設備の改善工事（スチームコベクション購入・食器消毒保管庫一式・食器洗浄器一式購入）

7. 人事管理

《新規任用・採用》

- 1) 教頭 新任
- 2) 常勤講師から専任教諭 1名
- 3) 常勤嘱託 1名
- 4) 非常勤講師 1名
- 5) 事務職員 1名

### Ⅲ. 財務の概要

以下に記載した財務の概要は、学校法人会計基準に基づき作成した計算書類を要約したものです。

#### 1. 資金収支計算書（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

収入の部		(単位 千円)			
科 目	補正予算	決 算	差 異	H24 年度決算	前年度比
生徒納付金収入	785,652	785,536	116	818,886	△ 33,350
手数料収入	16,790	16,788	2	20,207	△ 3,419
寄付金収入	26,266	27,880	△ 1,614	27,394	486
補助金収入	279,428	347,861	△ 68,433	336,106	11,755
資産運用収入	3,655	3,661	△ 6	4,260	△ 599
資産売却収入	310	310	0	0	310
事業収入	12,000	9,823	2,177	12,572	△ 2,749
雑収入	17,461	17,790	△ 329	540	17,250
前受金収入	112,040	112,040	0	112,360	△ 320
その他の収入	5,821	13,737	△ 7,916	33,135	△ 19,398
資金収入調達勘定	△ 132,360	△ 134,141	1,781	△ 126,514	△ 7,627
前年度繰越支払資金	386,392	386,392	0	342,649	43,743
収入の部合計	1,513,455	1,587,677	△ 74,222	1,581,595	6082

支出の部		(単位 千円)			
科 目	補正予算	決 算	差 異	H24 年度決算	前年度比
人件費支出	866,923	865,888	1,035	814,028	51,860
経費支出	135,626	125,509	10,117	119,482	6,027
借入金等利息支出	19,766	20,590	△ 824	23,943	△ 3,353
借入金等返済支出	144,520	144,520	0	153,880	△ 9,360
施設関係支出	42,505	37,816	4,689	10,371	27,445
設備関係支出	12,000	14,084	△ 2,084	5,434	8,650
資産運用支出	70,000	100,000	△ 30,000	60,000	40,000
その他の支出	0	0	0	3,603	△ 3,603
予備費	10,000	0	10,000	0	0
貸金支出調整勘定	△ 1,000	△ 634	△ 366	0	△ 634
次年度繰越支払資金	213,115	279,906	△ 66,791	385,857	△ 105,951
支出の部合計	1,513,455	1,587,679	△ 74,224	1,576,598	11,081

2. 消費収支計算書 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算	科目	決算
生徒納付金	785,536	人件費	859,714
手数料	16,788	経費	303,425
寄付金	28,163	(内減価償却額)	177,180
補助金	347,861		
資産運用収入	3,660	借入金等利息	20,590
資産売却差額	310		
事業収入	9,823	資産処分差額	236
雑収入	17,790		
帰属収入合計	1,209,931		
基本金組入額合計	△ 42,238		
消費収入の部合計	1,167,693	消費支出の部合計	1,183,965
		当年度消費収入超過額	
		当年度消費支出超過額	16,272
		前年度繰越消費支出超過額	948,722
		翌年度繰越消費支出超過金	964,992

3. 貸借対照表 (平成 26 年 3 月 31 日)

(単位千円)

科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	4,612,162	4,645,131	△ 32,969	固定負債	300,112	441,625	△ 141,513
有形固定資産	3,635,622	3,760,514	△ 124,892	長期借入金	192,000	327,340	△ 135,340
土地	85,505	85,505	0	退職給与引当金	108,112	114,285	△ 6,173
建物	3,048,322	3,136,838	△ 88,516	流動負債	201,755	209,707	△ 7,952
構築物	242,451	249,327	△ 6,876	短期借入金	16,000	25,180	△ 9,180
機器備品	168,196	201,851	△ 33,655	未払金	634	0	634
図書	87,193	85,844	1,349	前受金	112,040	112,360	△ 320
車輛	3,955	1,149	2,806	預り金	73,081	72,167	914
その他の固定資産	976,540	884,617	91,923				
				負債の部合計	501,867	651,332	△ 149,465
				基本金の部			
流動資産	302,097	392,626	△ 90,529	第1号基本金	5,262,384	5,220,146	42,238
現金預金	279,906	386,392	△ 106,486	第4号基本金	115,000	115,000	0
未収入金	22,093	6,134	15,959	基本金の部合計	5,377,384	5,335,146	42,238
前払金	0	0	0				
仮払金	98	100	△ 2	消費収支差額	△ 964,992	△ 948,722	△ 16,270
資産の部合計	4,914,259	5,037,757	△ 123,498	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,914,259	5,037,756	△ 123,497